



あるインド人家族とその親戚たち

元愛媛大学総合健康センター看護師 村上 和恵



時々日本とインドを行き来している。最近では2023年12月11日から1ヶ月ほどと、2024年2月2日から現在モインドに滞在中だ。この2度の滞在先はデリーの友人宅。友人はインド政府の要人なのだそう。

さて、この家（官舎）は大きくて敷地も広く、そして常時10人以上が滞在している。時には18人がひしめき合うこともある、というのは大げさだが、ドアを閉めてしまえば私的な空間になるため、丸一日顔を見ない人もいる。

友人の名前はAPSといい、妻と2人で住んでいる。人数が多いのは親戚たちが長期に滞在したり、地方から出てきてどこかへ出かける際の一時的な宿泊先にしているからだ。休暇で子供たちの家族が一斉にやってくることもある。だそう言えばから部屋割りや部屋替えは、APSの妻の重要な役割の一つだ。

親戚も多いが、年を取ってくるとあれこれ病気が見つかる。APSは寛大だ。どうせならここへ滞在してデリーの専門病院で診てもらってはどうか、そうすれば費用も節約できる、観光も楽しめる、ということで今ここにはAPSのジョイントファミリーと親戚を含めて4組の家族が滞在して治療を続けている。

少し前まで私の住む松山でも南予に住む人たちは、病院近くにアパートを借りて毎日放射線治療を受けたり、入院している家族の元へ通ったりして大変な思いをしていた。似たようなものかな、と思う。ひとつ違いを挙げるならば、同じ治療でも、インドの方はにぎやかに、大勢の親戚同士で助け合いながら続けている、といったところだろうか。

この官舎に滞在するとかかなりの利点がある。家族や身近な親戚がいるのだから心丈夫だ。病院への送り迎えや受診手続き、出張検査の手配等は秘書がやってくれる。もちろん家族も同伴する。検査結果は家族だけでなく親族間でも了承の上である程度共有できる。たまたま滞在中に貧血症状を見つけ、大腸手術につなげたのはこの親戚だし、低血糖発作を見つけて驚くべき速さで対処するのも見たことがある。薬の飲み忘れなどもない。それだけ、多くの人の目が行き届いているということだろうか。コックと台所でのスタッフが何人かいるので食事の心配が全く無いのも大きい。

その一方で家族や、APSの妻もたまには息抜きが必要だ。治療がない日は数人が病人とともにこの家に残り、残りの希望者全員で映画を見に行ったり、普段行けないところの観光や見学、このときも秘書が事前に調整をしてくれるため、担当者が付いてくれて待ち時間もない。外食や買い物などは女性家族にとってはとてもよいストレス解消だし、人数に合わせて秘書が車の調整をしてくれる。そうするとかなり無駄な時間を節約できる。

そうこうしているうちに1ヶ月、2ヶ月がたち、皆夫々自分たちの家へ帰っていく。私の2度の滞在先は、そのような中でのAPSの好意だ。

さらっと述べたのだが、さて皆さんはどう思うだろうか？

☆よくわからない → たしかにそうだろう。

☆秘書を私的に使うなんて信じられない → でもインド人にとってはこれが当たり前。別の友人が来日した時にはインド大使館の第3秘書と車1台がつき、関係ない私にまで鎌倉観光を企画してくれたし、ホテルニューオータニの朝食もいっしょにいただいた。

☆生活費はどうするの？ → 知らないけれどもそれなりにやっているみたい。

☆そんなに大きな家なの？ → 大きいけれどもさすがに全ての家族に一部屋とはいかないの、数人がシェアをする。

☆インドの医療は遅れているのか？ → 決して遅れているとは思わないし、設備やシステムはとてもしっかりしている。私自身は病院のお世話になったことはない。

☆そしてお決まりは、

「インドは汚い」「貧富の差が激しい」だろうか？ → これについては現地で自分の目で確かめて欲しいところだが、。。

インドへ来るようになって25年余りが経ち、その間に本当に書ききれないくらいいろいろな変化を見てきた。その中で変わらず、ホッとするのは、大なり小なり上述のような家族が存在することだろうか。決してインドに「ハマっている」わけではないが、毎回新しい経験や発見、人との出会いの中で、奥深い国だなと思う。

私のインド滞在はこのような友人たち抜きには考えられない。だから、というわけではないが、日本のわが家にもよく外国人がやって来る。無理をしてまで観光名所へ連れて行く必要もなければ、豪華な食事も必要ない。安心して眠れる場所を提供することと、私の友人たち、時にはお隣さんと共に、家庭料理を楽しみ少々のお酒を飲み盛り上がる、くらいの気楽さがいいのかもしれない。

My Journey To india



Happy Birthday! Jun.3



1月3日の誕生日を祝ってもらった



インドのお薬事情



みんなで確認しながらセットしていきます



登校前におばあちゃんと
お勉強



My Journey To india



たまには外食



南インドのドーサ



ニューカップル 🏠



メヘンディ



これもインド!



My Journey To india



アラハバードのサンガム



ガンジスとヤムナが交流する地点」で



サリーも着るし



ヘナもする



これもインド！

